

## NPO 法人市民科学研究所の「研究会」の刷新について [ver.01]

2024 年 2 月 8 日

上田昌文（NPO 法人市民科学研究所・代表理事）

1●2024 年 4 月から新しい活動形態で、既存ならびに新規の研究会を運営することになる。

2●2 月から 3 月をそのための準備期間とする。次のことが必要になる。

- ・研究会活動趣旨文の作成と告知
- ・4 月開始時点のメンバーの確定
- ・notion の非常に基本的な使い方の習得（世話人）と文書共有などの開始
- ・ML もしくは LINE へのメンバーのアドレスの登録
- ・4 月の第 1 回目の読書会の告知（市民科学研究所ウェブサイトでの「〇〇研究会の案内」）

3●既存の研究会（及びそのメーリングリスト）は一旦閉鎖し（あるいは既存のメンバーのうち誰が存続するかを内部で話し合い）、4 月からは以下に述べる「読書会」に参加するメンバーだけが研究会のメンバーとして登録されることになる。

→2 月のうちに読書会のテキストを選定し、3 月に広く参加を呼びかけ（会員ならびに非会員に対して）、4 月から読書会（を含んだ研究会）を開始できるようにする。

4●4 月からの研究会の開催頻度は月 1 回もしくは 2 回とする。

→4 月時点で登録されることになるメンバーで話し合って開催要領を決める。

5●開催場所は市民科学研究所事務所もしくはオンラインとする。

→オンラインで使用する zoom の URL 配信は市民科学研究所の方から行う。代表の上田と各研究会の世話人が共同ホストになるが、研究会の進行は世話人が行う。

6●各研究会には世話人を設ける。ただし、世話人は 1 名を固定してもよいし、メンバーで持ち回りで担当するようにしてもよい。持ち回りにする場合は、担当が決まった時点で、その担当者は上田にその旨を連絡する。

7●世話人は次の作業を担うことになる。

①次回の研究会の開催日時を告知する（→上田に連絡）。上田は市民研ウェブサイトにてそれを掲載。

②毎回の読書会の終了時に、参加者全員が短い「感想」をチャットなどで書くようするが、世話人はそのことを毎回忘れずに指示し、その感想文のデータを上田に送信する。上田は市民研ウェブサイトの「研究会のお知らせ」ページに「次回の研究会の案内」をその感想文と合わせて載せるようにする。

③資料や議事録などがあれば、メンバーでそれらを共有できるように「研究会 notion」（※1）にアップ

ロードする。

④研究会で公開イベントや新たなプロジェクトの立ち上げや研究助成の申請などを行う場合は、上田にその旨を伝え、相談するようにする。

⑤notion に保管している文書・写真・動画などからどれを一般公開するかをメンバー間で話し合った上で、多少形を整えて、それらを「〇〇研究会ウェブサイト」として公開する。

→市民科学研究室ウェブサイトには各研究会の案内ページを設け、そこに「次回の案内」を載せることになるが、notionによるウェブサイトのリンクも、そのページにすぐにわかるように貼り付けておく。

8●市民科学研究室のウェブサイトでは、次のことがはっきりわかるように、各研究会に対応した「〇〇研究会のご案内」のページを設ける。

- ・何を狙っている研究会であるか（【研究会の活動趣旨文】※2）
- ・どんなテキストで読書会を行っているか
- ・どんな感想が参加者から出ているか
- ・次回の研究会（読書会）がいつになるのか
- ・参加したい場合の連絡方法は（【参加登録フォーム】）

9●研究会のメンバーの間での諸連絡は、従来通り（さくらサーバに設けた）メーリングリスト（ML）もしくはLINEのどちらかを用いる。

→どちらを用いるのかを3月中に決めて上田に連絡する。

→研究会に実際に参加できるメンバーのみがMLもしくはLINEを使うことになる。研究会には出席しないでMLもしくはLINEに登録だけするということとはできない。また、研究会の欠席が半年に及ぶ場合も、MLやLINEからその人の登録を抹消する。

10●非会員が研究会に参加する場合は、1回目と2回目の参加は非会員のまま参加できるが、3回目からの参加には会員登録（市民科学研究室への入会）がないとできないこととする。

→研究会MLや研究会LINEに参加できるのは会員登録をした者だけとなる。

11●どの研究会も「読書会」をベースにして、その読書会には、会員であれ非会員であれ、興味をもった人ならいつでも誰でも入れるようにする。

12●読書会のテキスト（※3）は分厚くない（5回位で読み終わられる）、一般にも興味を引く、書籍や総説論文を選ぶ。

→章（あるいは節）ごとに担当を決めその人の報告をもとにすすめるのがよい。

→各回の読書会の最後に各人が感想をチャットなどで書き残す。

→毎回の読書会の時間は1時間ほどが適切だと思われる（残りの1時間ほどを別の議事にあてる）。

13●読書会に使うテキストは会員メンバーの分はすべて市民科学研究室が購入して送付する。

→非会員の人もいつでも読書会には参加できるが、テキストは自分で用意することになる。また、3回以上参加する場合は会員登録が必要になる。

14●読書会以外の、情報交換、議論、講座やイベントの企画立案……等々は、各研究会の活動内容・目標に応じて随時すすめることになるが、「調査研究プロジェクト」を新たに立ち上げたい場合は、その企画案をまとめ、市民科学者育成塾スタッフ（上田ほか4名）に伝える。助成金の検討、プロジェクトメンバーの確保、市民研の予算割当……など市民科学者育成塾の方で検討して提示する。

15●「土曜広場」の「土曜テーマトーク」に持ち込んで、研究会以外の人たちに意見交換してみたい何らかのテーマがあれば、それも市民科学者育成塾スタッフに伝える。「土曜ランチ」への登壇（して欲しい人のリクエスト）や「土曜カフェ」への企画持ち込みに関しても同様である。

16●市民科学研究室会員であれば、「何人かと〇〇をテキストにした読書会を始めてみたい」という希望があれば、**すぐにでも新しい研究会を立ち上げることができる**。ぜひこの機会に、ご自身の興味関心を反映した読書会・研究会をご提案いただければありがたい。

※1 notion の使い方について：次の動画で学べます。

【2023年最新版】初心者向け Notion の始め方【1時間でマスター】

<https://www.youtube.com/watch?v=GWLS-IXpWus>

もちろん、実際の運用にあたっては、上田が各研究会世話人とまず一緒に作業することで必要最小限の使い方をマスターできるようにします。

※2 「アーカイブ研究会」を例に、どの研究会も以下のような構成になりますので、「〇〇研究会」のページ、案内ページに載せる **活動趣旨文をできるだけ早く仕上げ、上田に送るようにしてください**。以下のページをよく見て、その構成やリンクの貼り方を理解するようにしてください。

**「研究会」のページ**

<http://www.gendaishokan.co.jp/goods/ISBN4-7684-6759-8.htm>

**「アーカイブ研究会」の案内ページ**

<https://www.shiminkagaku.org/archiveresearchgroup/>

**「アーカイブ研究会の」の専用サイト**

これは notion で創ることになります。

また、次回の定例会の案内は、トップページで他の講座やイベントの案内と同様に毎回告知します。

※3 読書会のテキスト（候補）

2月中に決め、3月頭から参加者を募集します。

●「食の総合科学」研究会

候補①

『風景をつくるごはん 都市と農村の真に幸せな関係とは』

真田純子 著、定価：2,200 円、発行：2023/10、出版：農山漁村文化協会(農文協)

<https://toretate.nbkbooks.com/9784540231247/>

<参考>

「風景をつくるごはん」プロジェクトを通じた地域環境の保全

[https://www.jstage.jst.go.jp/article/jila/85/2/85\\_130/\\_pdf](https://www.jstage.jst.go.jp/article/jila/85/2/85_130/_pdf)

候補②

“Saying NO to a Farm-Free Future The Case For an Ecological Food System and Against Manufactured Foods” Chris Smaje 著 2023 年

<https://www.chelseagreen.com/product/saying-no-to-a-farm-free-future/>

→英語だが機械翻訳などをうまく使って、支障が生じないようにする。

<参考>

The Small Farm Future Blog

<https://chrissmaje.com/2023/04/saying-no-to-a-farm-free-future/>

●環境電磁界研究会

1) 電磁過敏症・化学物質過敏症問題で最先端の仕事をしているグループの次の論文

Why electrohypersensitivity and related symptoms are caused by non-ionizing man-made electromagnetic fields: An overview and medical assessment

<https://www.sciencedirect.com/science/article/pii/S0013935122007010>

→この日本語訳は上田がすでに完成させている。読書会では詳しい訳注なども作りたい。

2) 電磁波健康影響に関する最新の論文集

Electromagnetic Fields of Wireless Communications: Biological and Health Effects

[https://www.researchgate.net/publication/366089127\\_Electromagnetic\\_Fields\\_of\\_Wireless\\_Communications\\_Biological\\_and\\_Health\\_Effects](https://www.researchgate.net/publication/366089127_Electromagnetic_Fields_of_Wireless_Communications_Biological_and_Health_Effects)

→この「序章」と各章の要約は WEB で読めるので、まずはそれを。本そのものは 2 万円を超えるので入手していないが、必要が出てくれば購入する予定。

●アーカイブ研究会

『ヒバクシャ・シネマ 日本映画における広島・長崎と核のイメージ』

ミック・ブロデック（編著）、柴崎昭則、和波雅子（訳）、現代書館、1999 年（原書、1996 年）

<http://www.gendaishokan.co.jp/goods/ISBN4-7684-6759-8.htm>

●生命操作研究会

『合成生物学 人が多様な生物を生み出す未来』

ジェイミー・A・デイヴィス (著), 藤原 慶(監修), 徳永美恵(訳)、ニュートン新書、2022年

[https://www.newtonpress.co.jp/book/shinsho/220415\\_synthetic\\_biology.html](https://www.newtonpress.co.jp/book/shinsho/220415_synthetic_biology.html)

●熱と暮らし研究会

(テキスト検討中)

●低線量被曝研究会

(テキスト検討中)